

※1

子ども・子育て審議会 とは…？

- 【委員】15名（うち公募2名）
- 【審議会の主な検討内容】
 - ・子どもの育成に関すること
 - ・子育て支援に関すること
 - ・母子保健に関すること など

「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」 第1回検討分科会を開催しました

11月4日（木）午後6時から、「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」検討分科会』の第1回会議を開催しました。

検討分科会は、「南相馬市子ども・子育て審議会」（※1）からの選任委員（8名）及び外部アドバイザー（3名）の計11名で構成され、全3回に亘って開催予定です。

委員及び外部アドバイザーと意見交換を重ねながら、段階的に条例（案）の検討を進めていきます。



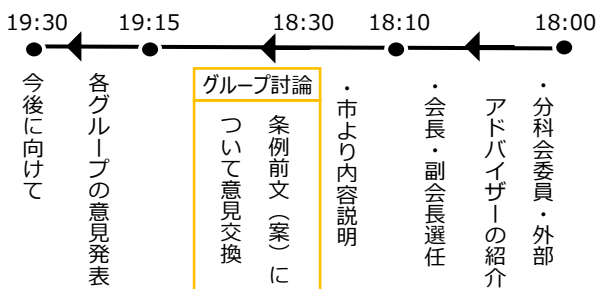
2グループに分かれて意見を交わしている様子

第1回検討分科会では、事務局より条例制定に至った背景や目的の説明を行い、その後2つのグループに分かれ、条例の内容について意見を交わしました。

議論のテーマは、現時点の条例前文（案）の内容についてです。

議論終了後は、両グループで出された意見を発表し、グループ同士の意見を共有しました。

第1回検討分科会の流れ



第2回検討分科会

第2回検討分科会は、12月上旬に予定しており、第1回で出た意見を受けて修正した条例前文（案）を委員の方々と共有する予定です。

その後、第1回目と同じように、2つのグループに分かれ、条例の内容等について意見を交わします。

「出た意見の概要」

テーマ

「条例前文（案）」の内容について

【前文第5段落】
決意宣言について
子どもに携わる方にも
視点をあてては？

「笑顔あふれる」を
子どもが輝くまちの
前に盛り込んでも良
い？

…など

※条例前文（案）の
本文については、添付
資料2のとおり

【前文第3段落】大人の役割について

「大人」ではなく「市
民」の方が良い？

「挑戦する気持ち」
→「夢を実現する」

【前文第4段落】市民全員での取組について

「一丸となって」
→「一体となって」

「安心して」の具体
性は？

環境を築く
→ハード面も含めて

可能性の表現はと
ても良い

…など

「子どもを包み込み」
→「子どもを見守り」

…など

【前文第1段落】子どもの存在について

子どもは「地域の
宝」はその通り

【前文第2段落】市民の願いについて
・市の風景や環境について

山や川も盛り込む
方が良い？

子どもが笑顔になれば
地域も笑顔になる

・その他
南相馬市のキャッチ
フレーズを盛り込む

震災後の子ども数
は3～4割ほど減

人々の心の温かさ
も含めては？

未来に対するメッセー
ジがあっても良い？

…など

…など

「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」第1回検討 まとめ

2021.11.4 南相馬市役所 東庁舎 2階 会議室

テーマ：「条例前文（案）の内容について」

【第1段落】子どもの存在について

«グループ「こども」»

- ・「南相馬市の未来をつくる希望」の構成において、南相馬市子ども・子育て条例と記載しているため、改めて「南相馬市」と記載しなくてもよいと思う。
- ・地域のイメージがまちなかと周辺部では違う。
- ・震災以降、子どもが外で遊ぶ環境が少なくなったと思う。

«グループ「未来」»

- ・震災で子どもは3～4割少なくなっている
→「子どもは地域の宝」はまさにその通りだと感じる
- ・短くて相手に伝わりやすい。

【第2段落】市民の願いについて

«グループ「こども」»

- ・「広く雄大な海の姿」、「豊かな里の姿」
→～の姿の語句はなくて良い
- ・これから移住してくる方へのメッセージを含めても良いのではないか。
→この段落で示すのが難しければ、別段落にしても良いのではないか。
- ・前文はメッセージを伝えるものだと思う。
→南相馬市のキャッチフレーズを条例名称、前文、内容の中で統一していると良いのではないか。
- ・“ともに”笑顔あふれる日々を～とした方が良いのではないか。
→子どもだけではなく、子どもが笑顔になれば、周りの方も笑顔になるというイメージ

«グループ「未来」»

- ・海との対比で山や川を盛り込んでも良いのではないかな。
→里山として盛り込むと良いのでは？
- ・人々の温かさの中に、人々の“心の”温かさというワードを追加して、際立たせても良いのではないかな。
- ・笑顔あふれる“楽しい”日々とより具体化させて方が良いのではないかな。
- ・あまり盛り込みすぎても伝わりづらくなる。
- ・未来をイメージできるワードがあっても良いのではないかな。
- ・本内容から少子化への危機感を感じられない。
- ・地域で子どもの数が少なくなっているという認識が薄いのかもしれない

【第3段落】大人役割について

«グループ「こども」»

- ・“大人”の重要な役割の“大人”の表現が第2段落とのつながりから合わないのではないかな。
→“市民”の方が良いのではないかな。
- ・“挑戦する気持ち”の文言を前文の中で明記する必要があるのか。
→“夢を実現する”という表現の方が第5段落との一貫性があると思う。

«グループ「未来」»

- ・学習発表会や運動会など目標がある場合の子どもの頑張りはずいぶんあり、特に南相馬市の子どもたちは素直である。
→この段落はそのような子どもたちの環境を維持、またより良いものにしていこうという大人へのメッセージとなって良い。
- ・“可能性”という表現はとても良いワードである。
- ・全ての子どもたちを取り残さないことが大切。
- ・夢だけでなく“希望”のワードも付け加えた方が良いのではないかな。
- ・自分らしく“のびのびと”というワードも付け加えた方が良いのではないかな。

「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」第1回検討 まとめ

2021.11.4 南相馬市役所 東庁舎 2階 会議室

【第4段落】市民全員での取組みについて

«グループ「こども」»

- ・ふるさとで“過ごす”ため～の文章について、ふるさとで“暮らす”とした方が良いのではないか。
- ・子どもを“包み込み”の文章について、イメージが伝わりにくい。
→子ども“見守り”と具体的に示した方が良いのではないか。
- ・“地域全体で子どもを包み込み、一丸となって子育てを～”の一丸となつては前に地域全体でというワードがあるので不要ではないか。

«グループ「未来」»

- ・理想と現実のギャップ
→理想に追いつけるようしなければならない。
- ・“安心して”という具体性が見えない
→何をもちて安心といえるのか。イメージがわからない。
→様々な関係機関により子どもたちをサポートしている環境があり、安心という意味であれば、“幅広い支援により”安心してというワードを加えてはどうか。
- ・現在待機児童は0ということだが、希望している所に入所できない、ひとり親の方が入所できないなど周りからそのような声を聞く。
→フルタイムで働く保育士の不足
- ・掘り下げていくと各関係機関においての課題等があると思うが、前文の中ではそこまで細かく記載しなくても良いのではないか。
- ・先ほど意見のあった“幅広い支援により”というワードを、“一丸となつて”という文言の前に加えた方が流れがスムーズになるのではないか。
- ・“一丸となつて”ではなく“一体となつて”の方が良いのではないか。

【第5段落】決意宣言について

«グループ「こども」»

- ・“子どもがかがやくまち”の前に笑顔あふれるというワードがあった方が良いのではないか。
- ・実現のワードが重複してしまうので、“子どもがかがやくまち”を
目指し～という文章構成にしてはどうか。

«グループ「未来」»

- ・子ども・子育て条例なので子どもを前面に表現するもの良いが、その周りの人達にも視点を当てても良いのではないか。
- ・子どもが輝くことが一番である。